

北斗市外国語プロジェクトの取組

北斗市では、次代を担う子どもたちに必要な資質・能力の育成を目指して、全ての小中学校と教育委員会が一丸となって取り組んでいます。

特に、「学力向上・地域連携・外国語・ICT」については、北斗市校長会と教頭会が連携してプロジェクトチームを組織し、推進しています。

そのうちの一つである北斗市外国語プロジェクトチームでは、急速に進展しているグローバル化に対応できるよう、子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の向上に向けて、北斗市内の小中学校における外国語・外国語活動の充実を図る取組を推進しています。

また、北斗市教育委員会では、英語の授業や英語活動がより実践的で効果的に見えるよう、4名のALT（外国語指導助手）を各小中学校に派遣しており、本プロジェクトとも協力して活動しています。本プロジェクトの具体的な取組や今後行う活動を一部紹介します。

【北斗市の小中9年間のCAN-DORリストの作成】

CAN-DORリストとは、児童生徒が英語でできることをリスト化したものです。各校で作成の際に参考にしてもらえよう、本プロジェクトでスタンダードなものを作成しました。

【外国語・外国語活動における年間計画や教材等の参考資料の作成】

現在、小学校3年生から外国語活動、5年生から教科としての英語が行われていますが、北斗市では、小学校1・2年生で「英語との出会い」を意識し、遊びや歌などを通して身近な英語の音声に慣れ親しむ活動を取り入れています。

そこで、小学校低学年から6年生までの年間計画や参考となる資料を作成しています。

【各校の実践紹介】

自校の授業や活動の改善に参考となるよう、各校の実践を紹介します。

【ALTとの連携】

各校でのALTの活用についての情報や参考資料の作成、また、ALTと先生方の交流の場を設定し、協力体制の強化を図ります。

【英検検定料補助制度の周知】

北斗市では、令和2年度より財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料の一部を補助しています（詳しくは北斗市HPへ）。本プロジェクトでも児童生徒にチラシを配布しました。今後も北斗市の児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上に努めてまいります。

（北斗市校長会外国語プロジェクト

茂辺地小中学校長 星野 みさお）

冬の感染症

強力な感染で猛威を振るう

インフルエンザ

突然の38度以上の発熱、頭痛、咳や鼻水、下痢、倦怠感などつらい症状が出ます。感染力が強いため、熱が下がっても注意が必要です。飛沫感染、接触感染で起こります。



ウイルスを室内に増やさないためにも、適切な換気が必要です。濡れタオルや加湿器で室内の乾燥対策も行いましょう。

《対応その1》

流行時期は人混みを避けるようにしましょう。

《対応その2》

下痢や嘔吐を繰り返す

ウイルス性胃腸炎

冬に子どもの中で流行するものは、主にノロウイルスやロタウイルスによるものです。突然吐いたり、下痢をしたりすることから始まります。他に発熱、悪心、腹痛などの症状が見られます。接触感染、経口感染（汚染された食品を食べることによる感染）で起こります。



《対応その1》

症状に応じた対症療法を行います。脱水症にならないように、経口補水液などの水分を少量ずつこまめに飲みましょう。

《対応その2》

嘔吐物や下痢便にはウイルスが含まれています。嘔吐物は速やかに処分しましょう。

嘔吐物が付いた食器や衣類は塩素系漂白剤で消毒します。

処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。



菌が肺に感染して起こる

マイコプラズマ肺炎

飛沫感染、接触感染で広がります。しつこい咳、発熱、倦怠感、頭痛などが症状です。耳の痛みやゼーゼー、ヒューヒューと呼吸音が聞こえることもあります。

《対応その1》

水分を摂取することで喉が潤い、咳を抑えることができます。

《対応その2》

部屋の湿度を保ち、症状が治まるまで静かに過ごしましょう。



（北斗市学校保健会 茂辺地小学校

養護教諭 秋野 真由美）